

広報きらわら

第147号 (発行日) 昭和47年7月25日 (発行人) 北浦村長 勢司 治雄 (印刷所) さんゆう社印刷

北浦村の人口

昭和47年6月末日現在	
(単位・戸、人)	
世帯数	2,302(2)
総人口	10,740(12)
男	5,235(1)
女	5,505(11)
△は減少	



七月二十四日、山田地区の山田バイパスぞいに造成を進めている農協事務所建設の整地現場で、縄文後期と見られる古代住居跡を発見しました。(写真は古代住居が発見された農協建設整地現場)

山田で古代住居跡を発見

古代史解明に大きな手がかり

住居跡が発見されたのは、山田バイパスぞい高台に造成中の農協事務所の整地現場。この造成を請け負った業者がブルトーラーで整地中、表土を削った部分より土器の破片が出土したため、工事を中止。教育委員会で海老原幸鹿行文化財保護連絡協議会長や村文化財保護委員のみなさんに調査を依頼し発見したものです。

調査の結果、現場付近より縄文中期から後期のテラス式住居跡が発見。鹿行地方で最初の古代住居跡で古代史解明に大きな手がかりをつけたものと見られます。この住居は約一坪地中に堀込まれたもので、縄文中期と後期の住居跡が二重になっており複合住居跡になっているということです。住居跡からは、柱を立てる柱など、土器のかけらが畑から出土され、古代集落等があな、かまど跡のほか、土器や、石おのなど多数が発見されました。

現場は山田バイパスぞいの高台以前からも、土器のかけらが畑から出土され、古代集落等があつたものと見られます。

今月の紙面

12面	みんなの力で よい社会環境を	8面	4面
11面	相続税のあらまし	9面	盛りあがった競技会
10面	防音校舎	10面	近く着工
9面	みんの力で よい社会環境を	3面	議会一般質問(要旨)
2面	田園都市事業	1面	

かと思います。
関利德議員 村の道路台帳が、整備されてい
るかどうか、また、この台帳を作
成する場合には、どのような内容
が記入されるか、おたずねいたし
ます。
つぎに、地籍調査に関連して、
せつかくめん込んだ調査をしても、
その後境界の明確化を欠いてはま
ずいと思いますので、村として、
一般に対しまして境界ぐいのあつ
せんをする考え方があるかどうか、
うかがいます。
建設課長 道路台帳につきまし
ては、村では道路法に基づく台帳
はできております。この台帳には
一・六九九路線 延長五六、がが
記載されていますが、このうち大
部分は村道であります。
境界ぐいのあせんについてで
ありますがあ、これについては、今
後研究してゆきたいと思います。
役場庁舎の改築について
千ヶ崎 議議員 隣接町村の役場庁舎は、すでに
改築整備されているわけですが、
本村においては、庁舎を改築する
考えをもつてゐるかどうか、うか
がいます。
村長 ごぞんじのよう、役場
庁舎は、非常に手ざまになりま
して、そのうえ農協が一部を使用
しているような現況から考えま
で、ぜひこれは改築したい、とい
う考えはもつております。さらに
職員組合からの要望として、更衣
室、食堂兼休憩室等の設置など、
いくつもの申し入れがありますの
で、これらを満たすためにも、新
庁舎を建設する必要性が認められ
るわけであります。しかし、一般

住民が望むところは、「道路」であろう、ということから、現在は道路改良に熱意を込めているところから、戸舎の建設はしばらくの間がまんをしていたぐのが妥当であろう、と思います。しかししながら、防衛局の方へも陳情いたしまして、それらの補助でもつけば、着工もやぶさかではない、といつ考えをもつております。

田園都市計画について
千ヶ崎 肇議員

田園都市計画につきましては、第三年を迎えたわけですが、道路事業についてはすでに予算化されでありますので、その他の事業についてご説明願います。

調査企画室長 道路につきましては、事業主体が村になりますので、村の予算に計上されております。その他の本年度実施いたします田園都市センターの建設であるとか、屋敷整備事業については、成田部落が主体となり進めるもので、田園都市協会から補助金は出しますが、村の予算へのついては、ないわけあります。

田園都市協会については五月二十七日に協会の設立発起人会を開き、設立の方針を決めまして、六月十日に設立総会を開催いたしました。そして、昨日、県知事の方へ田園都市協会の設立認可申請をいたしましたわけであります。

千ヶ崎 肇議員
について

県道島並・鉢田線工事

まりの状態にあります。これについての見通しはどうなっているのか、おうかがいたします。

建設課長 この工事につきましては、本年度県の方で個所づけがされており、延長四三〇㍍が改良される予定であります。現在、区長さんを通じ、部落の方へも打合せをしていたぐくよな手段取りになつてあります。地元議員さんのご協力ををお願いいたします。

土地改良の実施について

塙 勝維議員 通告いたしました第一点霞ヶ浦総合開発については、さきほどの答弁で、概ね了解いたしたわけであります。が、鹿島開発の例でもわかる通り、「農工両全」がうたわれているにもかかわらず、農民が非常に苦しい状況にあります。霞ヶ浦総合開発につきましては、そういうことのないよう、村当局にとくに要望いたします。

つぎに、土地改良の問題であります。が、武田川流域の水田は、腰までつかって農作業を行なうといふ状況で、近代農業を進める上で大きな障害となつています。今後、村として、この地区の基盤整備事業を行なう考え方があるかどうか、おうかがいたします。

長 村 北浦村には、武田川と山田川があり、その流域にそつて水田がひらくされている状況であります。が、この地域に対しましては、農業構造改善によつて進まなければならぬといふことが考へられるわけであります。しかし、さきほど申し上げました通り、相手があることであります。もちろん村としてのPRも進めてまいらなければなりませんが、地元

においても村とタイアップいたしまして、どうしてもやるんだといふ意欲が強くならなければならぬと思います。地元関係者とよく連絡いたしまして、ご期待にそつとうな方向に進みたい、と願い立たすものであります。ひとり武田川のみにとどまらず、山田川流域についても、その通りです。

申し上げられない状況であります。結婚相談の開設について、額賀実議員は、今年度、公民館活動の一環として、結婚相談所を開設することになつていたが、これについてのその後の経過について説明をお願いいたします。

公民館長 結婚相談所について、額賀実議員は、現在組織の検討中であります。まだ開所する段階になつてしまつて、職員の関係もありません。とくに、職員の関係もありませんので、それらをにらみ合せまして、今後の若い人達のために成功させて行きたい、と思ひます。

額賀 実議員 公民館の計画をみると、昭和四十七年には館長の仕事が大分多くなっています。現在館長の仕事は半常勤といつ形になつていますが、この計画を完遂するために現行の勤務体制で完全に遂行できるかどうか、うかがいます。

教育長 公民館の利用も増加しますが、今後さらに活動が活発化した時点において、教育委員会による協議のうえ、善処してゆきたいと思います。

津澄公民館の老朽化対策について

額賀 実議員 公民館津澄分館の建物が老朽化し危険な状態になつているが、村としては、新築あるいは改築の考え方があるかどうか、おうかがいいたします。

村長 津澄公民館の老朽化していることは、十分承知しております。当然もう改築の時期は来ております。津澄公民館の場合は、

されてしまいましたが、今回の補正でさらに百十八万円が追加されております。補正予算は、人件費の増や物価の値上がり、また計画変更とかの理由により行なわれると聞いております。しかし、わずか三ヶ月ぐらいの短期間におきまして、そうした補正をしなければならないような理由はどこにあるのか、なお計画変更になつたとするならば、現在行なわれていて工事の内容につきましてご説明願いたいと思います。

つぎに、小貫小学校に対する財産の取得処分についてであります。ですが、いま地籍調査が行なわれるという寸前におきまして、代替地等につきまして、適切な措置がなされておりますかどうか、ご質問いたします。

村長 小貫小学校の問題につきましては、当初予算で三百万円の要望がありました。が、財政的な問題で当初百万円しか計上しなかつたわけであります。しかしながら、これでは確かに少なすぎるるので、財政的な見通しもついたことでもあるので、今回増額をお願いするわけであります。当初の不備は、当然考え方す必要があるという考え方であります。

教委事務局長 村長から答弁のあつた通りであります。事務段階におきましては、第一期工事の完了した時点におきまして、敷地の整備、境界の明確化、あるいは花壇の整備とか学校として必要な整備を図るため、補正予算をお願いしたものであります。

総務課長 代替地の問題につきましては、地元議員さんのお骨折りによりまして、一応、栗生の山

林の寄附をいたたきました。代替地として配分するということで、分割登記まではしてあります。その後の校庭等の工事状況等を考え合わせまして、個人登記までしておこうという考え方であります。現在、まだ代替登記はしておりません。幸い、本年度小貴地区的地籍調査が実施されますので、その節には登記をしたいと考えております。財産管理につきましては、総務課が実施するわけですが、その取得までは、それぞれの主管課で行なうこととなっていますので、その後の管理につきましては手ぬかりのないよう、やって行きたいと思います。

なお、県道関係のことを申し上げますと、小舟津の県道の問題が第一に考えられると思います。これにつきましての、今までの交渉の経過、あるいは今後の見通しについておたずねいたします。

助役 小舟津の県道の経過につきましては、地元の土地所有者は、今までの拡幅改良計画について、全般的に協力するという約束をとりつけてございます。さらに、県の予算関係であります、とりえず、これまでのところ、三百万円の予算がついていますが、この額では、ますぐ着手できない、といふ土木事務所長の意見であります。それで、さらに、三百五万円ぐらいの追加を要求中のことです。

村としても、この追加陳情を進めることであります。

原 一二三議員 産業振興対策に関連して、さきに三和地区の基本盤整備が計画され、これが不調に終わった、と聞いています。その原因はどこにあるのか、今後の基盤整備を進めるうえから参考のためおうかがいたします。

現在の土地改良事業につきましては、農家の経済状態から考えまして、補助率の高い二〇〇〇円以上の県営事業として取り上げるよう進めさせていただきたい、と思います。これにつきましては、昨日吉川地区の道路改良請願に対する現地調査をいたしましたが、これも基盤整備を合わせ考へれば、解決することであります。したがいまして、基盤整備に対します執行部の考え方についておうかがいたします。

木長 大変大きな問題でありまして、北浦村の八割を占める農業の生きる道をここで検討することであると思います。もちろん、産業振興対策につきましては、土地改良、基盤整備ということは、取り上げて進めるべきであることは間違いないと思います。ただ、これは相手があることでありますて、それにほどの啓蒙につづめなければならないということ、しかも、二〇〇ヶ以上のお面積をまとめて実施する場合には、非常に補助率が高いということで、村といたしましては、二〇〇ヶ以上を目標といたしまして、皆さんのご期待にそよぎ、考えておるわけでございます。

大根桜木堂事業としてやりたいと
いうことで、現在、上部機関との
折衝を進めておる段階であります。

関利德議員 宅地造成あるいは道路改修によ
り降雨等による土砂流出その他に
よる被害をどのようにして防止す
るか、という点であります。私
の担当する「心配ごと相談所」に
おいてこうした事件が何件も持ち出
されています。これらの点につ
きまして、村において条例・規則等
が制定できれば、問題の早期解決
がはかるると思いますが、これに
ついての見解をおうかがいたし
ます。

調査企画室長 これにつきまし
ては、民法第一九九条に「占有保
全」の条項がありまして、占有を
防害されるときは、訴えを起こし
て被害を防止せるとか、損害賠
償を請求することができる、とい
う規定があります。それから七〇
九条で、「不法行為の要件」とい
う規定があり、故意または過失に
より他人の権利を侵害したときに
は、損害賠償の責に任にあたる、
という規定があります。こう
した民法の規定の適用で法律的な
解決は図らなければならぬと思
います。村の条例、規則等に制定
につきましては、法律等によつて
村に委任されているものであれば
簡単だと思いますが、これらの委
任規定もなくて住民を拘束する
とは、若干困難性があると思いま
す。ですから、そうした問題につ
きましては、やはり、一応心配
と相談等により取り上げていただき
きどうしても解決のつかない問題
につきましては、民事訴訟により
解決をはかる、ということになる

